

# 2026年度 丸子北小学校

(教育理念)：本校開校に際し、「はつらつとした、生命の躍動している学校として、ここに学ぶ子どもが、朝雲の如く、風の如く、光をあびて、楽しく、たくましく、勉学する学校」にしたいという願いを込めて次の二つの書を座右の銘とした。

## ★【夢と驚き】

子どもには大きな夢を与え、新しく知ることの驚きに勉学の楽しさや喜びを感じ取らせよう

## ★【汎汎揚舟載沈載浮(汎汎たる揚舟 沈むものも載せ 浮かぶ物も載せ)】

子ども一人ひとりの個性を尊重し、すべての子供をおおらかに抱きとり、共に進んでいこう

## 学校目標

- 違いを認め、お互いを大切にする子
- 自分の考えを持ち、進んで学ぶ子
- 最後までやり抜く子

## 地域住民の願い

- 子どもを主体者とした授業の創造
- 個性に満ちた学校の創造

## 子ども

## 大人

## 丸子北小学校の日課と「しかけ」

### 1 一日のスタートを読書から 自律

- ・リズムと心を整えて一日をスタートする。  
(「静か」をつくれる。一人で読める。)
- ・読むことへの抵抗をなくしていく。
- ・本の世界の豊かさに触れていく。

### 2 1単位時間40分午前5時間授業

- ・集中力を最大限に生かした学びの実現
- ・生み出した時間でFSPの創設
- ・下校時間が早い
- 家でゆとりがある

### 3 心みがき清掃 自律

- ・清掃＝「考える」時間
- ・がまん玉、見つけ玉、しんせつ玉を磨く

### 4 北小っ子タイム

- ・与えられたものをやるのではなく、子どもが考え実行する時間
- ・関わりを深める時間 ・新しい気づき
- ・みんなで楽しむ時間 ・出会い直し

### 5 ふりかえり&つむぐの記入 自律

- ・掃除のふりかえり＝メタ認知(言語化)
- ・心の内を言語化する

### 6 FSP(フリースタイルプロジェクト) 自律

- ・子ども自身が学びを創る時間
- 「好き」「楽しい」「なぜ」から始まる
- ・自己選択、自己決定、情報収集、自己解決
- ・自分のペースで進める

### 7 帰りの会(つむぐの記入)

- ・次の日の予定や宿題を書いて見通しを持つ
- ・自主学習の計画を立てて帰る
- ＝学びを自分でプロデュース＝

- ・全校で「静か」をつくる
- ・朝読書以外の活動を行う場合は全校で一斉に1クラスだけ変えるということはない
- ・教師も読書ができれば…

- ・40分授業の工夫
- \*子どもが主体の授業づくり
- \*「学び合い」の充実
- ・放課後のゆとり…
- 教材研究、授業準備、提出物の確認、研修等

- ・教師も同じ気持ちで掃除
- ・答えを言わない＝心の鍛錬
- ・子どもが自ら動き出すのを見守る

- ・子どもと向き合う時間
- ・子どもを見渡す
- ・一緒に遊ぶ中で授業中には見えない姿に気付く
- ・先生も子どもと一緒に遊びに浸りこむ時間

- ・子どものありのままを受け止め、それに対して思いを伝える

- ・場と時間を保障する
- ・教師は伴走者
- ・子どもを信じる
- ・教師自身が「探究」を楽しむ
- ・問いかけ、提案

- ・一日をふりかえり、家での学習(自主学習を含む)の計画を立てる

### 自律 自分で よく考える! みんなと うーんと考える 対話

予測不能な時代、答えのない時代に 自ら「こたえ」を生み出せる子に 友との関わりや体験を通して より豊かな子に

	始	終	時間	月	火	水	木	金
1	8:10	8:20	10			朝読書		
	8:20	8:30	10			朝の会		
2	8:30	9:10	40	1	1	1	1	1
	9:15	9:55	40	2	2	2	2	2
	10:00	10:40	40	3	3	3	3	3
3	10:40	11:05	25			中休み		
	11:05	11:45	40	4	4	4	4	4
	11:50	12:30	40	5	5	5	5	5
4	12:30	13:30	60			給食・昼休み		
	13:30	13:45	15			北小っ子タイム/児童会/ふりかえり		
5	13:45	14:00	15			ふり回り		ふり回り
	14:00	14:40	40	6	6	6	6	6
6	14:45	15:25	40			帰りの会 下校15:05		帰りの会 下校15:05
	15:25	15:50	25			クラブ FSP		クラブ FSP
7	15:50	16:40	50			職員出勤8:10 職員退勤16:40		職員出勤8:10 職員退勤16:40
	15:05	15:15	10			課外活動		課外活動
	15:50	16:40	50			重点研究 15:50-16:40		重点研究 15:50-16:40
	15:50	16:10	20			教材研究 16:00-16:40		教材研究 16:00-16:40
	15:05	15:15	10			学年会		学年会
	15:50	16:40	50			教材研究		教材研究

「我と汝」＝「内と外」＝「自分と友だち」の連関でつくられる…

表現とは、自分一人で完結するものではありません。自分を取り巻く外の世界(歴史、自然、他者＝「汝の外」)からの呼びかけに、自分が「応答」すること(表現・形成すること)で成り立ちます。(木村 素衛)

→友だちと関わる中で自分がつられていく。仲間がいるから学びが広がるし、自分のこともよくわかる。学校(公教育)の持つ意味。学び手にも上も下もない…。子どもと共に進む学校…

## 長野県：個人と社会のWell-beingの実現

一人ひとりの「好き」や「楽しい」「なぜ」をことごとく追求できる「探究県」長野の学び



## 丸子北小学校におけるWell-beingの実現を!

## わたしたちの取組の工夫 \*エトセトラ\*

### 【授業が命!】

- 教師に基礎基本がある
- ・クラスに聴く話すのルールはある?
- ・子どもが動き出す「問い」は据わってる?
- ・学び合いを生み出せてる?
- 「おとなりさん、どっち? どれ?」
- ・板書に学習問題、学習課題、考え、まとめが書かれてる? (子どもの学びの足跡を残す)
- ・協働できるクラスになってる?
- ・非認知能力は育ってる?
- ・納得解を生み出す授業になってる?
- ・授業を楽しんでる?
- ・安心安全の中で授業ができてる?
- 研究を柱に進めていく!

人とのつながりの中で学び育つ

### 【放課後の時間の有効活用】

- \*一単位時間40分午前5時間授業で生み出された放課後の時間を有効活用する
- ・教材研究、授業準備、提出物の確認等の時間の確保
- ・大人の自学タイム (教職員も主体的に楽しく学ぶ)
- ・学年会の充実
- ・タイムマネジメントで定時退勤

### 【ICTの活用...】

- ・協働学習の促進
- ・習熟度に合わせた学習
- ・どこでも学べる環境
- ・成績、出欠管理の効率化
- ・ペーパーレス化と連絡の迅速化

### 【働き方改革】

- ワークエンゲージメントを高める
- ・放課後の時間の使い方を見直す
- ・デジタル技術を活用した校務の取り組み
- ・職員間の仕事の偏りをなくす
- ・一単位時間40分午前5時間授業で生み出された放課後の時間の有効活用

### 【研修の充実】

- ・先生方の得意を生かした研修会の実施
- ・研修への自主的主体的な参加
- ・研修後の報告の共有

## 全教育活動を支えるもの＝児童理解＝

～答えは子どもたちの中にある～

いろんな立場の先生がいるからこそ児童理解につながる  
ピースをたくさん得られる =報・連・相=

子どもが立体的に見えてくる

全教育活動(授業)の充実

誰にも居場所があり 安心安全な学校 ↔地域からの信頼

- ・QU検査の実施
- ・学年会の充実…